

いちめんのなのはな

令和3年2月15日(月)
こうちょう すず き まこと
校長 鈴木 誠

かぜとなかよし

- 1年生 生活科 2月2日(水) -

1年生が校庭で自作の「風車」で遊びました。雨上がりのこの日、次第に強さをます風は、十分すぎるほどの強さでした。子供たちは風に羽根や帽子を飛ばされながら、笑顔を絶やさず風車で遊びました。「走らなくても回るんだよ」と嬉しそうに見せてくれる子供たち、思うように回せずにいろいろ試したりよく回る友達を観察したりする子供たち、遊びを通して学ぶ子供の姿を頼もしく思いました。



凧あげで交流

- 1年生と6年生 2月12日(金) -

1年生が自作した「凧」を6年生と一緒に揚げて楽しみました。この日は風がなく穏やかな天候で、絶好の凧揚げ日和とは言えませんでした。それでも、元気いっぱい走って凧が揚がるのを喜ぶ1年生、嬉しそうに走りまわる1年生の子を温かく見守ったり一緒に走ったりする6年生、皆が笑顔になりました。

牛乳パックをはがきに変身させよう

- 4年生 総合的な学習の時間 2月2日(火) -

環境保護をテーマに総合的な学習に取り組んでいる4年生が、牛乳パックをリサイクルして紙すきで「はがき」を作りました。

材料となるパルプをできるだけたくさん手に入れようと子供たちは丁寧にフィルムをはがしました。せっかくできたはがきを壊さないようにそっと型枠から外す様子は、宝物を扱うようでした。作ったはがきでリサイクルの大切さを伝える計画の子供たちは、思いのこもったはがきを誰に届けようか真剣に考えました。



「鉛筆の達人」検定を続けています

縄跳び大会を終え、昼放課の「鉛筆の達人」検定のために多目的教室を子供たちが訪れるようになってきました。2月8日(月)に日合格した3年生の男の子は、落ち着いた検定に取り組み、「名前の漢字が今までで一番上手に書けた」と満足そうでした。子供たちの一生懸命さが自己の一番を更新する機会につながっていました。

校内を歩いていると、「シールが4枚たまったから鉛筆の達人に行くね」と声をかけてくれる子供がいます。子供たちと担任の先生たち、鉛筆の持ち方や姿勢への意識が続いていることをうれしく思います。

九九名人をめざして - 2年生 算数科 -

2年生が九九の習得めざして励む日々が続いています。休み時間に教室を訪れると、担任の先生に九九を聞いてもらう子供の姿がありました。また、「あと、6と7と8の段の帰りだけだよ」とか「今日の昼放課、校長室に九九名人に行くね」と教えてくれる子供もいました。校長室で検定を受けるのを楽しみにしていることが伝わりました。

できることを増やそうと根気よく努力できる子供たちが素晴らしいと思います。



災害について調べ伝え合う

- 5年生 社会科「自然災害を防ぐ」

2月10日(水) -

5年生がタブレット端末や資料集で、詳しく知りたい災害について個々に調べてまとめました。その後、調べたことを級友と1対1で伝え合いました。

追究したことについてタブレット端末で資料を提示しつつ相手を見るように努めながら発表する姿、発表を丁寧メモする姿で教室が満たされました。子供たちの熱心な様子とともに、一人でも多くの級友に伝えようと相互発表の相手を求める姿も素敵でした。

漢字が表すものは

- 3年生 外国語活動 2月12日(金) -

「大猩猩」と書いたカードが相手から示されます。「What's this? (これは何ですか)」と尋ねると、「It's Black. (それは黒いです)」や「It's an animal. (それは動物です)」など出題者が調べておいたヒントが示され、子供たちは耳をそばだて、読み(漢字が何を表しているか)を当て合いました。

子供たちは次々に相手を変えて、クイズを出し合いました。笑顔と学ぶ意欲が教室を満たしていました。

ちなみに、「大猩猩」は「ゴリラ」だそうです。



昼休みの校庭



鬼ごっこ、サッカー、しっぽとり、だるまさんが転んだ、縄跳び、ブランコ、鉄棒、ジャングルジム、昼休みの校庭に子供の元気な姿があふれます。休み時間のタブレット端末の利用も節度をもって取り組んでいるようです。